

平成 29 年度 設計業務等標準積算基準 改正概要
(平成 29 年 10 月 1 日改正)

●設計業務等標準積算基準、同(参考資料) 共通事項

No.	項 目	内 容	備考
1	共通	章立て、頁割振りの修正 語句の修正（文言の追加・並び替え、歩掛間の統一）	
2	共通	国土交通省基準改定に伴い、設計・地質調査に関連する一部歩掛を標準積算基準から削除。 「基準改定に伴い削除となる歩掛一覧表」を参照	

●設計業務等標準積算基準

No.	項 目	内 容	備考
1	測量業務 第 1 編 第 1 章 第 1 節測量業務 積算基準	1-4 測量業務費の積算方式 1-4-2 変化率の積算 1. 変化率 ・標準単価の定義を追記 「ここでいう標準単価は直接測量費の内、各種標準歩掛等によって得られる単価のことである。」	1-1-6
2	測量業務 第 1 編 第 1 章 第 1 節測量業務 積算基準	1-4-2 変化率の積算 2. 地域・地形区分 ・「地域区分」→「地域・地形区分」 ・「地物による分類」→「地域による分類」	1-1-6
3	測量業務 第 1 編 第 2 章 第 9 節現地測量	9-1-1 現地測量（作業計画） ・作業計画について、業務あたりでの歩掛を新設（小規模測量における実態乖離の対応）	1-2-72
4	測量業務 第 1 編 第 2 章 第 9 節現地測量	9-1-2 現地測量（S=1/500） ・実態に合わせて歩掛改定 ・作業量補正式及び適用範囲の変更 作業量補正式 $y=744.04 \times A + 25.596(\%)$ A:作業量(km ²) [適用範囲：～0.14 km ²] ↓ 作業量補正式 $y=718.95 \times A + 28.105(\%)$ A:作業量(km ²) [適用範囲:0.2 km ² 以下]	1-2-73

No.	項目	内容	備考
5	測量業務 第1編 第2章 第11節機械経費等	11-1 機械経費,通信運搬費等,材料費 ・機械経費等の一部率改定	1-2-83~87
6	地質調査業務 第2編 第2章 第8節解析等調査業務	8-2-2 単価の規格・仕様区分 表 8.1 解析等調査業務の規格区分 ・資料整理とりまとめ、断面図等の作成について、「直接調査費分」、「解析等調査業務費分」それぞれにコード番号を設定 (SB290,SB291,SB292,SB293)	2-2-18
8	地質調査業務 第2編 第2章 第10節弾性派 探査業務	10-5 間接調査費 (X3000) 10-5-1 準備費 ・発破法・スタッキング法 「なお、測線延長は小数第2位 (小数第3位を四捨五入) まで代入する。」を追記	2-2-23
9	土木設計業務等 第3編 第1章 第2節設計留意書の作成	・文言の改正 「コスト縮減」 → 「生産性向上」	3-1-3
10	土木設計業務等 第3編 第2章 第1節共通	1-1 打合せ等 ・文言の改正 標準歩掛 (業務難易度が <u>高い</u> 場合) →標準歩掛 (業務難易度が <u>標準的</u> 場合)	3-2-1
11	土木設計業務等 第3編 第2章 第1節共通	※新たな取り組み 1-2 品質確保関連等 ・成果品の品質確保に関する項目の歩掛を新設 a 合同現地踏査 b 照査技術者による報告 c 条件明示チェックシートの作成	3-2-2
12	土木設計業務等 第3編 第2章 第2節道路詳細設計	※新たな取り組み 2-3-1 道路詳細設計 (A) ・(注)「6.照査には,赤黄チェックによる照査も含む」を追記 ・区分「照査」の技師 B、技師 C に赤黄チェックに要する人工を計上	3-2-9

No.	項 目	内 容	備考
13	土木設計業務等 第3編 第2章 第3節交差点設計	3-1 平面交差点設計 3-1-1 平面交差点予備設計 ・歩掛人工の改定 ※実態乖離を踏まえた改定	3-2-13
14	土木設計業務等 第3編 第2章 第3節交差点設計	5-3 歩道詳細設計標準歩掛 ・歩掛人工の改定 ※実態乖離を踏まえた改定	3-2-25
15	土木設計業務等 第3編 第2章 第14節河川構造物設計	14-1-3 樋門詳細設計 (1) 作業区分 仮設構造物設計 「なお、鋼矢板式二重締切堤は含まれないものとする。」旨の記載を追記	3-2-131
16	土木設計業務等 第3編 第2章 第14節砂防構造物設計	15-1-1 砂防堰堤予備設計 標準歩掛 ・歩掛人工の改定 ※実態乖離を踏まえた改定	3-2-143
17	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-1 適用範囲 ・適用基準の改正 「橋梁定期点検要領（案）（平成16年3月）」 →「橋梁定期点検要領（案）（平成26年3月）」 「橋梁における第三者被害予防措置要領（案）（平成16年3月）」 →「橋梁における第三者被害予防措置要領（案）（平成28年3月）」	4-1-12
18	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-4 業務内容 (5)第三者被害予防措置 ・「1)措置計画の作成及び非破壊検査」について追記	4-1-14
19	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-4 業務内容(5)第三者被害予防措置 2)打音検査 ・文言訂正 「遠望目視」 → 「現地踏査」	4-1-14

No.	項 目	内 容	備考
20	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設 点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-5 標準歩掛 (1)計画準備 1) 橋梁台帳等出力、2)業務計画書作成 (注)2.「(定期点検と第三者被害予防措置を同時に行 う場合は1橋とする。)」記載を削除	4-1-16
21	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設 点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-5 標準歩掛 (2)現地踏査 ・現地踏査(定期点検)の歩掛人工改定 ・現地踏査(定期点検及び第三者被害予防措置を同時) の歩掛を削除	4-1-17
22	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設 点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-5 標準歩掛 (4)定期点検 ・(注)「3.第三者被害予防措置と同時に定期点検とは ～」の記載を削除 ・1橋当の点検日数D(日/橋)算定式 「表 定期点検の点検区分ごとの変数値」を削除 し、「なお,a=5.62, b=0.42, 最大作業量170 m ² /hとす る。」を追記	4-1-18
23	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設 点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-5 標準歩掛 (5) 第三者被害予防措置 「1)措置計画の作成及び非破壊検査」歩掛新設	4-1-19
24	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設 点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-5 標準歩掛 (5) 第三者被害予防措置 「遠望目視及び非破壊検査」歩掛削除	4-1-19
25	調査・計画業務 第4編 第1章 第4節道路施設 点検業務	4-2 橋梁定期点検業務積算基準 4-2-5 標準歩掛 (6)点検調書作成 1)定期点検 ・(注)「2.定期点検と同時に第三者被害予防措置を～」 の記載を削除	4-1-29

●設計業務等標準積算基準(参考資料)

No.	項目	内容	備考
1	総則 第1編 第2章 第1節積算基準	1-2-5 旅費交通費等の積算例 ・計算例の各単価を更新	参 1-2-5
2	測量業務 第2編 第2章 第7節測量業務 標準歩掛における 機械経費等の 構成	7-1 機械経費等の構成 2-2-1 2級基準点測量 新点 10点 ・機械経費の構成 GNSS 測量機 摘要の一部誤植の 訂正 「5台×1.5日」→「3台×4日」 ※数量に修正はなし。	参 2-2-32
3	測量業務 第2編 第2章 第7節測量業務 標準歩掛における 機械経費等の 構成	7-1 機械経費等の構成 9-1-1 現地測量(作業計画)(S=1/500) ・杵を新設(ただし、内容は無記載)	参 2-2-56
4	測量業務 第2編 第2章 第7節測量業務 標準歩掛における 機械経費等の 構成	7-1 機械経費等の構成 9-1-2 現地測量(S=1/500) ・数量の改定 ◎機械経費の構成 トータルステーション 「8.5」→「9.8」 ライトバン(供用日損料) 「8.5」→「9.8」 ライトバン(運行時間損料) 「17.0」→「19.7」 ◎材料費の構成 木杭 「39」→「28」 ガソリン 「44.2 2.6 ^{リットル} ×17h」→「51.2 2.6 ^{リットル} ×19.7h」	参 2-2-56
5	地質調査業務 第3編 第1章 第4節足場仮設	4-1 足場等の概念図 ・概念図と追加	参 3-2-9
6	土木設計業務等 第4編 第1章 第4節一般構造 物設計	4-5 積算例 4-5-7 U型擁壁 ・断面図の寸法の記載を訂正 「5.7~1.0m」→「1.0~5.7m」	参 4-1-29

No.	項 目	内 容	備考
7	支援機構に委託する積算業務 第6編 第1章 第1節積算業務 委託積算基準	1-2 歩掛及び積算基準 1-2-1 旅費交通費 (1) 打合せ ・打合せ用 S コード作成 「SC051」(人工直接入力可能)	参 6-1-1
8	発注者支援業務 第7編 B 第1節発注者支援業務委託	1-2 発注者支援業務積算基準 1-2-4 標準歩掛 ・歩掛人工数量の改定 (1) 打合せ 定例打合せ(技師 A) 「1.0」→「1.2」 (2) 工事監督支援業務 2) 工事管理(技師 A) 「0.25」→「0.4」 3) 監督員補助 管理技術者(指揮・監督業務) (技師 A) 「1.0」→「1.1」	参 7-B-4,5
9	国有林野の貸付申請及び保安林解除手続き関係 第7編 C 第2節国有林野の貸付申請及び保安林解除手続き関係書類作成業務委託積算基準(案)	2-2 基本歩掛表 2-2-5 申請協議回数 ・申請協議用 打合せ S コードを新規作成 「SC051(県内業者)」(人工直接入力可能) 「SC061(県外業者)」(人工直接入力可能)	参 7-C-14

基準改定に伴い削除となる歩掛一覧表

番号	編	節	基準書番号	名称	H28基準書頁	備考(関連頁)
1	土木設計業務等標準歩掛	第3節 交差点設計	3-3-1	トランペット・クローバー型IC予備設計	3-2-16	
2	土木設計業務等標準歩掛	第3節 交差点設計	3-3-2	トランペット・クローバー型IC詳細設計(予備設計あり)	3-2-17,19	参4-1-7
3	土木設計業務等標準歩掛	第7節 一般構造物設計	7-4-1	ロックシェッド予備設計	3-2-49	
4	土木設計業務等標準歩掛	第7節 一般構造物設計	7-4-2	ロックシェッド詳細設計 上下部工	3-2-50~52	参4-1-34~36
5	土木設計業務等標準歩掛	第7節 一般構造物設計	7-6-1	スノーシェッド予備設計	3-2-55	
6	土木設計業務等標準歩掛	第7節 一般構造物設計	7-6-2	スノーシェッド詳細設計 上下部工	3-2-56~58	参4-1-41~43
7	土木設計業務等標準歩掛	第7節 一般構造物設計	7-7-1	スノーシェルター予備設計	3-2-59	
8	土木設計業務等標準歩掛	第7節 一般構造物設計	7-7-2	スノーシェルター詳細設計	3-2-60~61	参4-1-44
9	土木設計業務等標準歩掛	第7節 一般構造物設計	7-8-1	雪崩予防施設詳細設計 防護柵付擁壁	3-2-63	※防護柵付擁壁のみ
10	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-2-3	河川排水機場予備設計 コンクリート形式	3-2-148~149	※コンクリート形式のみ
11	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-2-4	河川排水機場詳細設計 コンクリート形式	3-2-150~151	※コンクリート形式のみ
12	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-3-4	矢板護岸予備設計(自立式)	3-2-154	
13	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-3-5	矢板護岸予備設計(非自立式)	3-2-155	
14	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-4-2	堰予備設計	3-2-164	
15	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-4-3	堰詳細設計	3-2-165~169	
16	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-5-2	床止め予備設計	3-2-173	
17	土木設計業務等標準歩掛	第14節 河川構造物設計	14-5-3	床止め詳細設計	3-2-174~176	
18	(参考資料)地質調査業務関係	第3節 物理探査	3-1	電気探査(垂直探査)	参3-2-7~8	
19	(参考資料)土木設計業務等関	第9節 河川構造物設計	9-2	築堤詳細設計(片岸)・(両岸)	参4-1-78~80	